

# News Release

2019年12月16日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2019 年 11 月 8 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

## デジタル技術による作物保護の包括的な解決策 BASF、「Agritechnica 2019」で xarvio® Digital Farming Solutions と 新規に xarvio® HEALTHY FIELDS を発表

- xarvio® HEALTHY FIELDS は専門家による防除散布を含む最適な作物保護戦略を生産者に提供
- Bosch と BASF がスマートで経営資源の有効活用につながる新しい散布方式を発表
- xarvio® SCOUTING と xarvio® FIELD MANAGER が新しい機能とともにシーズンを通して生産者をサポート

農業は世界的に大きな課題に直面しています。一部の地域では、食料や飼料の需要が急速に増加する一方で、供給側の生産体制が整っていません。また、ドイツや他の欧州諸国では、持続可能性と透明性が人々の関心を集めています。これらの課題に対応するため、BASF(本社: ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は「xarvio® Digital Farming Solutions(ザルビオデジタルファーマリングソリューション)」として、世界中の農業をより効率的かつ持続可能にするデジタルアプリケーションを開発しています。ドイツのハノーバーで 2019 年 11 月 10 日から 16 日まで開催された世界最大の農業技術見本市「Agritechnica2019」では、「xarvio® Field of Vision(ザルビオフィールドオブビジョン)」と題したブースを設け、xarvio®の最新技術を紹介しました。

「xarvio® HEALTHY FIELDS(ザルビオヘルシーフィールド)」は、生産者に全く新しい作物保護の可能性を提供するデジタル製品です。「BASF と契約している請負業者が xarvio® FIELD MANAGER(ザルビオフィールドマネージャー)を利用し、そのツールが

推奨する作物保護戦略を実行します。これにより、生産者は複雑な作業から解放され、すべてのステップを透明性高く追うことができます。また、シーズン終盤時、葉の病害によるダメージが事前の合意より大きい場合、生産者は補償を受けることができます」と、BASF デジタルファーミングを統括するトビアス・メンネは述べています。生産者と請負業者は、病害虫発生リスク、防除に関する推奨情報、散布実施状況、および対策実行の記録をいつでも行うことができます。また、もう一つの利点として、「通常、請負業者は技術的に優れた機材を所有しているため、これと xarvio®とを組み合わせることで、適切な作物保護対策およびその自動化を各圃場(ほじょう)に適用させることができます」と述べています。

### **SMART SPRAYING(スマートスプレー)と xarvio® FIELD MANAGER が農薬の使用を最適化**

xarvio®のブースでは、BASF が Bosch と共同開発している SMART SPRAYING など、その他の優れたデジタル農業アプリケーションも体験できます。「カメラセンサーにより、スマートスプレーは圃場を走行しながら作物と雑草を区別することができます」と BASF のデジタルファーミング・コマースオペレーションのグローバルヘッド、アンドレ・ジョージ・ギルグは述べています。圃場での日常業務において、スマートスプレーは xarvio® FIELD MANAGER と接続して使用されます。xarvio® FIELD MANAGER は作物ごとに、どの農薬をいつ、どの程度散布すればよいか、さまざまなパラメータに基づき決定します。Bosch の NEVONEX は、FIELD MANAGER とスマートスプレーをスムーズかつ高速に接続します。

### **SCOUTING Mountain では雑草スキャナー、葉の損傷分析などを展示**

SCOUTING Mountain (スカウティングマウンテン) のコーナーでは、「xarvio® SCOUTING (ザルビオスカウティング)」アプリを操作することもできます。最新の画像認識技術により xarvio® SCOUTING は雑草、病害、葉の損傷の識別と定量化を行い、窒素状態を測定し、害虫の数を計測し分類することができます。新たな機能が加わったことにより、xarvio® SCOUTING は複数の雑草をスキャン及び記録し、発芽後の平方メートルあたりの作物の平均量を測定することができます。

また、来場者は xarvio® FIELD MANAGER がどのように機能するかも学ぶこともできます。xarvio® FIELD MANAGER は生産者が様々な領域で農作業の意思決定を行うことを容易にするデジタル製品で、圃場を最大限に活用するために、より効率的で持続可能な栽培を行うことを目標としています。生産者はいつでも自分の圃場の状態を確認することができ、圃場1枚ごとの推奨情報を得たり、可変散布マップをダウンロードしたりすることができます。xarvio® FIELD MANAGER は、衛星画像解析などの画像解析技術と農業データ、生産者の経験やノウハウを組み合わせています。

xarvio® SCOUTING と xarvio® FIELD MANAGER の最新機能は以下の通りです。

#### xarvio® SCOUTING

- 複数の雑草の同時識別
- 発芽分析
- 新しい雑草、病害、害虫、作物の追加
- 操作性の向上

#### xarvio® FIELD MANAGER

- バッファゾーン自動生成
- 肥料マップ
- 気象センサー（Arable など）との連動
- 農機との連携（Agrirouter、John Deere、Nevonex）
- 操作性の向上

xarvio®はより持続可能な生産に貢献するソリューションにも注力しています。これらには、外部からの植物ストレスの測定と分類、バッファゾーン自動生成、耕作地内外の生物多様性の記録が含まれます。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

#### ■xarvio®デジタルファーミングソリューションについて

xarvioは作物生産を最適化する農業のデジタル化の最先端にあります。xarvioは生産者が最も効率的かつ持続可能な方法で作物を生産できるように各圃場の状況に応じた推奨情報を提供する作物モデルプラットフォームに基づいたデジタル製品です。世界100カ国以上の生産者がxarvioのSCOUTINGとFIELD MANAGERを使用しています。

#### ■BASFのアグロソリューション事業本部について

世界の人口が急速に増加するなか、持続可能な農業と健康的な環境を作り出して維持するBASFの役割はますます大きくなっています。BASFのアグロソリューション事業本部は、生産者や農業従事者、害虫駆除業者などの皆様と共にこの状況に対応しています。そのため、BASFは強力な研究開発パイプラインや、種子、形質、化学・生物農薬、土壌管理、プラントヘルス、害虫防除、デジタル農業などを含む幅広いポートフォリオに投資を行っています。研究室や現場、事務所、生産施設に専門家チームを配し、生産者や社会、そして地球のために、革新的な考え方と堅実な行動を組み合わせ、実際に役立つ現実的なアイデアを生み出しています。2018年、BASFのアグロソリューション事業本部の売上高は62億ユーロでした。アグロソリューション事業本部についての詳細は[www.agriculture.basf.com/jp](http://www.agriculture.basf.com/jp)、または各種ソーシャルメディアをご参照ください。

#### ■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の3つを同時に果たしています。また、全世界で約122,000人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。ポートフォリオは、6つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション&ケア、アグロソリューション)から成ります。2018年のBASFの売上高は約630億ユーロでした。BASF株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASFの詳細な情報は、[www.basf.com](http://www.basf.com)をご覧ください。